選択

2023.12月号●目次

連載

10 世界のキーパーソン
11 国内人事情報
27 Book Reviewing Globe
40 テイレシアスの食卓―河井健司
42 大往生考
51 西風
59 交差点―読者の声・編集者の声

社会・文化

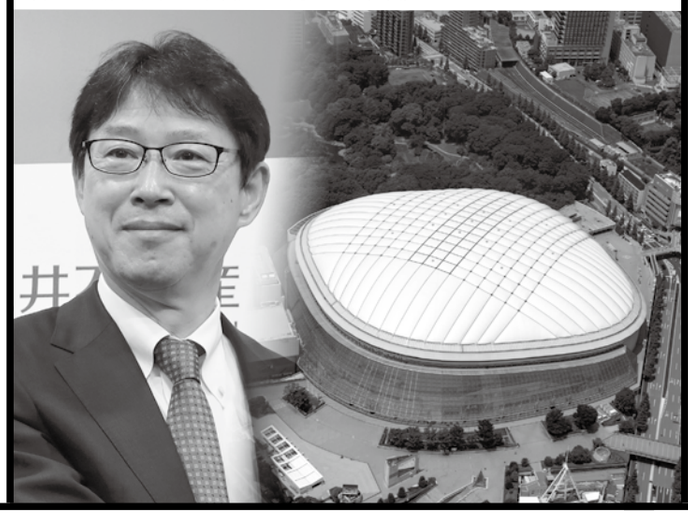
台湾有事や尖閣・南西諸島の危機の際、日米は中国と戦えるのか。「その日」を想定したリアルな訓練が、密かに続いている。陸自と米海兵隊を鍛え上げる演習は、多数の戦死を織り込む壮絶な模擬戦だ。(110頁)

98 社会・文化●情報カプセル
100 フォトジャーナリズムの終焉
■スマホが駆逐した「時代の記録者」
102 勤務医「定年後」のお寒い実情―狭き再就職の門と「医療事故リスク」
104 「写本学」への招待―美しき彩飾と歴史の「小宇宙」
106 沖縄「土地バブル」の深い闇―戦争由来「所有権」を巡る怪事件
108 創価学会はどう衰退していくか
■池田大作亡き後の重すぎる難題
日本のサンクチュアリ●シリーズ591
110 北富士演習場―自衛隊と米軍「対中作戦」の最前線

経済

60 米国は「デフレ」に向かう
■「消費急減」で景気悪化は不可避に
62 ジェネリック製薬「崩壊」の瀬戸際―医薬品不足「恒常化」厚労省の失政
64 NTT「テレビ局買収」への邪欲
■澤田と甘利が狙う「言論支配」
67 連載〈クローズ・アップ〉
佐野 傑(電通次期社長)―五輪談合「責任逃れ」のトップ交代劇
68 連載〈企業研究〉三井不動産
■都心乱開発で「読売」と共謀
72 日本風力開発「偽装応札」が大成功―贈賄犯罪企業に「大甘」の経産省
74 経済●情報カプセル
78 連載〈地方金融の研究〉山梨中央銀行―業界初「観光業参入」の暗い前途
82 JT「戦争支援企業」の二枚舌
■葉たばこ農家「撲滅」と財務省の計略
84 上場廃止「MBO」続出の理由―敵対的買収時代の「副作用」
86 トヨタ広報役員「長田准」の狼藉―「章男礼賛」で全身全霊の忠犬

反対渦巻く外苑再開発に続き、今度は築地市場跡地も専横する勢い。「新ドーム」も絡んで、三井不・都庁・読売の鉄のトライアングルは強固になるばかり。環境や公共性を無視した乱開発もやり放題だ。(68頁)



政治

総スカンの岸田に解散総選挙はもう無理。高市のシケた勉強会が「跡目争い」の号砲を鳴らした。衆目の一致する「次」がいない中、選挙の顔として浮上するのが、世論ウケするあの男と、実務家の女性だ。(48頁)

44 政治●情報カプセル
46 財務省「岸田倒閣」の狡猾な罠
■減税迷走で浮上する「陰謀論」
48 岸田降ろしの「青写真」
■「選挙の顔」を誰に代えるか
52 連載〈政界スキャン〉池田大作と自民歴代首脳の「相愛」
54 岸田「バラマキ農政」の時代錯誤
■血税濫費と農産物「高騰」を招来
56 岸田零落の元凶「森山と元宿」―「解散風」で振り回す老害二人
58 連載〈罪深きはこの官僚〉東川直正(万博協会副事務総長)―開幕絶望「施設建設遅延」の張本人

WORLD

3 連載〈巻頭インタビュー〉吉川 徹―「格差」に怒らない若者たち
6 ●特別リポート
「二つの戦争」米国の大罪
―無力な傍観者「老バイデン」
12 トランプが突き進む「ファシズム」―米国民主主義「粉砕」へ邁進
14 西欧環境政党が「反ユダヤ」に傾斜―ガザ紛争が炙り出した「人種問題」
16 エクアドル「麻薬と殺戮」の戦慄―今や南米屈指の「犯罪天国」に
18 WORLD●情報カプセル
22 中東の海「船舶攻撃」はまた起こる―スエズ運河は大丈夫か
24 中国がカナダ・豪州に「謀略工作」
■西側同盟「分断」で手段選ばず
28 荒れる「コーカサス」の地政学
■二つの戦争を左右する「要衝」に
30 ミャンマー国軍「弱体化」の様相―武装勢力「反転攻勢」で蠢く中国
32 ガザ紛争の黒幕「カタール」
■中東混乱を煽る「異形の小国」
34 尹錫悦も早々に「死に体」か
■日韓関係「逆回転」の暗雲
36 李克強「怪死後」の静かな政情不安―太子党に「反習近平」の策動
38 連載〈現代史の言霊〉十二月の三人―米ソ首脳会談(ニューヨーク・一九八八年)

「派兵しない参戦」。ウクライナでの米国を「無力」と見た冒険主義的勢力は、今後各地で紛争を起こすだろう。ガザで晒した無能ぶりは、国際秩序を大きく狂わせた。米国こそ乱世を招いたA級戦犯だ。(6頁)

80 金融の世紀―黒木 亮
88 皇室の風―岩井克己
90 日本の科学アラカルト
92 新・大学評判記
94 本に遇う―河谷史夫
96 をんな千一夜―石井妙子
114 マスコミ業界ばなし

●写真提供／時事通信フォト　共同通信イメージズ　朝日新聞社　産経新聞社　など